

第55期

株主の皆様へ

株主通信

2018年1月1日▶2018年12月31日



環境調和型企业をめざして お客様の理想をカタチに

富士変速機の製品は、暮らしのどこかでつながっています。



株主の皆様へ



代表取締役社長

河嶋 謙一

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2018年12月31日をもって第55期（2018年1月1日から2018年12月31日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年3月

企業理念

我社は顧客の視点に立ち、動力伝導技術をコアコンピタンス事業とし、常に新技術を深究し、顧客の繁栄と社会の発展に貢献することを目的とする。

目次	株主の皆様へ……………	1	製品紹介……………	11
	事業の概況……………	2	トピックス……………	12
	財務ハイライト……………	4	会社概要……………	13
	セグメントの概況……………	5	株式の状況……………	14
	財務諸表……………	7	株主メモ……………	

会社の事業の経過および成果

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の動きが見られるとともに、設備投資動向が好調に推移したことで、景気の緩やかな回復が見られました。しかしながら、米中貿易摩擦による世界経済への影響懸念や、相次ぐ自然災害の発生など、依然として先行不透明な経済環境で推移いたしました。

当社関連の減速機関連業界は、半導体関連産業をはじめとした、工場生産設備の需要が好調に推移するとともに、企業の人手不足を背景に、物流・工場自動化等、生産性向上ニーズの高まりを受け、受注環境は好調に推移しました。駐車場装置関連業界においては、東京オリンピック・パラリンピックの開催をひかえた首都圏を中心とした都市再開発や訪日外国人の受入整備需要の下支えにより、不動産市場は活性化し回復基調となりました。

このような環境のもと、当社におきましては、生産体制の強化・見直しを継続的に取り組むとともに、顧客志向に立った製品開発、差別化した提

案営業を推進し、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、食の安全に対するニーズの高まりを受け、「安心安全」をコンセプトとして新発売した、食品機械向けギヤードモータの積極的な営業活動を行うとともに、その他保有技術を活かした新規開発に注力してまいりました。

駐車場装置関連事業では、都市再開発やビジネスホテル等訪日外国人の受入需要に着目した戦略的営業展開を図るとともに、製造・施工コストの管理体制強化と低減活動を進め、収益改善に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、受注獲得と収益改善に努めてまいりました。

この結果、当期の売上高は6,114百万円（前期比7.7%減）、営業利益は329百万円（前期比4.6%減）、経常利益は357百万円（前期比5.2%減）、当期純利益は240百万円（前期比2.1%減）となりました。

対処すべき課題

今後のわが国経済の見通しは、政府による各種政策の効果もあり、引き続き緩やかな景気の回復が期待されますが、米中貿易摩擦をはじめとする通商問題の動向や地政学的リスクによる、国際情勢・経済情勢の変化、人手不足による人件費や資材価格の高騰リスクの他、近年急速に進むAI・IoT等情報インフラの高度利用に伴う産業構造の変化等、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような環境のもと、当社といたしましては、マーケティングに基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と管理・生産体制の最適化を行い、事業の拡大を目指してまいります。また、今後見込まれる事業環境の変化に備え、中核技術である動力伝導技術に中長期的な対策と資源を集中し、安定した収益を確保し続ける経営基盤の構築に努めてまいります。

減速機関連事業では、今後さらなる需要の拡大が見込まれる、物流・工場生産自動化設備等成長分野に対し、当社の保有技術を活かした特殊製品

等による新規顧客展開を行い、シェアの拡大を目指してまいります。また、管理・生産体制の最適化に取り組み収益力強化に努めてまいります。

駐車場装置関連事業では、業界トップレベルの入出庫能力や省エネ性能、耐震性等を誇る当社の「くし歯技術」を活かした、付加価値開発を行い、成長分野や需要増加が見込まれる分野へ積極的に展開するとともに、既設物件に対する付加価値の高い改造改修提案を推進し顧客満足度の向上に努めてまいります。また、製造・施工コストの管理体制強化と低減活動を進め、受注獲得と収益改善に努めてまいります。

室内外装品関連事業では、品質管理体制の強化と生産性の向上により、利益確保に努めてまいります。

なお、次期の見通しにつきましては、売上高7,700百万円、営業利益510百万円、経常利益530百万円、当期純利益360百万円を見込んでおります。

当期の概要

売上高

6,114百万円
(前期比 7.7%減)



経常利益

357百万円
(前期比 5.2%減)



当期純利益

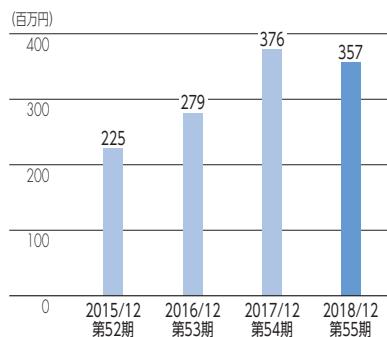
240百万円
(前期比 2.1%減)



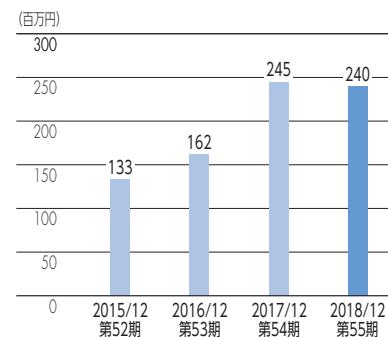
売上高



経常利益



当期純利益



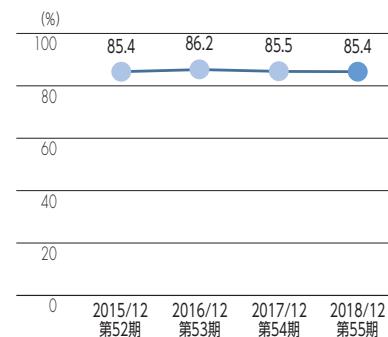
1株当たり当期純利益



純資産・総資産

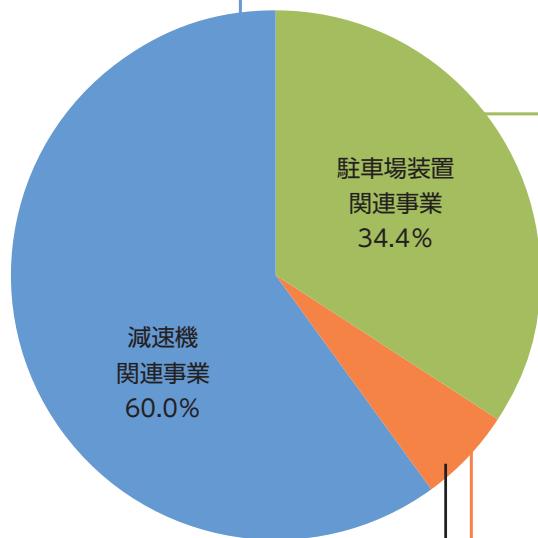


自己資本比率



セグメントの概況

事業別売上高構成比



減速機関連事業

売上高
3,670百万円
(前期比 10.6%増)

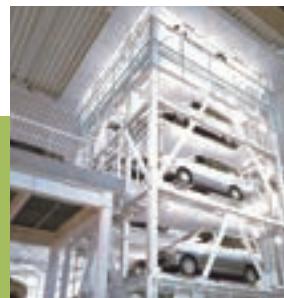
《主要製品》
汎用減速機
(VX・VCシリーズ)
特殊減速機
シャッター用駆動装置
消防用非常装置
(ジェットセイバー)



駐車場装置関連事業

売上高
2,100百万円
(前期比 28.7%減)

《主要製品》
機械式駐車場
(パズルタワー)
(スーパーパズルGS、LB)
(ペーパーク、アベルート)



室内外装品関連事業

売上高
342百万円
(前期比 4.4%減)

《主要製品》
可動間仕切
(スライディングドア)
パネルルーバー



各種産業用減速機の受注が好調に推移しました

設備投資動向が好調に推移する中、企業の人手不足を背景に、物流・工場自動化等のニーズが広がり、当社が得意とする無人搬送台車駆動用特殊減速機をはじめ、各種産業用減速機の出注が好調に推移したことにより、売上高は

3,670百万円（前期比10.6%増）となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、継続的な原価低減活動等の取り組みが奏功し247百万円（前期比89.7%増）となりました。

売上高



新規案件や改造改修案件の受注獲得に努めてまいりました

不動産市場が好調に推移する中、選別受注による収益管理のもと新規案件の受注獲得に努めてまいりました。また、既存の立体駐車場オーナー様向けに、当社製品独自の付加価値提案を積極的に展開し、改造改修案件の受注獲得に努めてまいりました。この結果改造改修工事の受注は増加したものの、新

規工事において一部案件の計画変更が発生し、売上高は2,100百万円（前期比28.7%減）となりました。営業利益につきましては、原価低減活動等に取り組んでまいりましたが、資材価格等の上昇や、新規工事の計画変更に伴う売上高の減少が起因し、96百万円（前期比59.2%減）となりました。

売上高

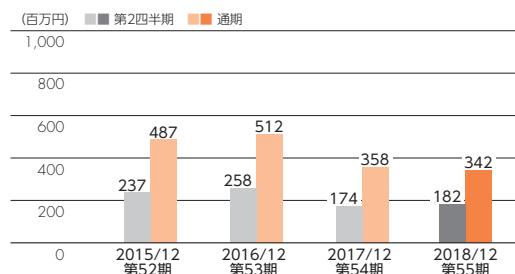


品質管理の徹底と性能の向上に取り組まれました

品質管理の徹底と性能の向上に取り組む受注獲得を目指しましたが、売上高は342百万円（前期比4.4%減）となりました。営業損益につきましては、コスト低減活動等による収益確保に努めましたが、13百万円の損失（前

期は19百万円の損失）となりました。

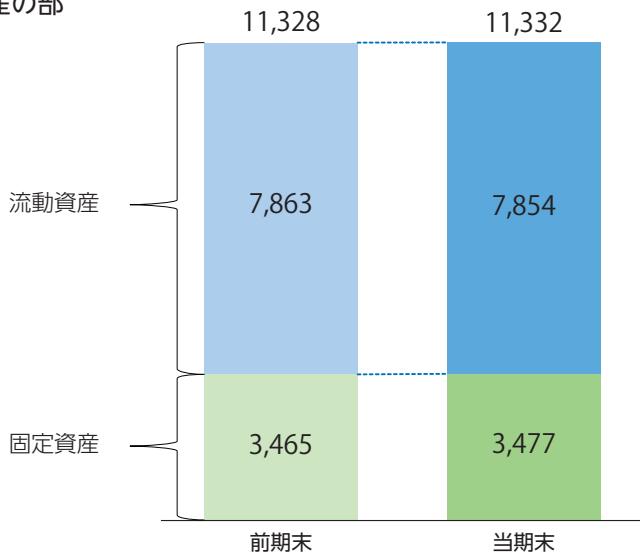
売上高



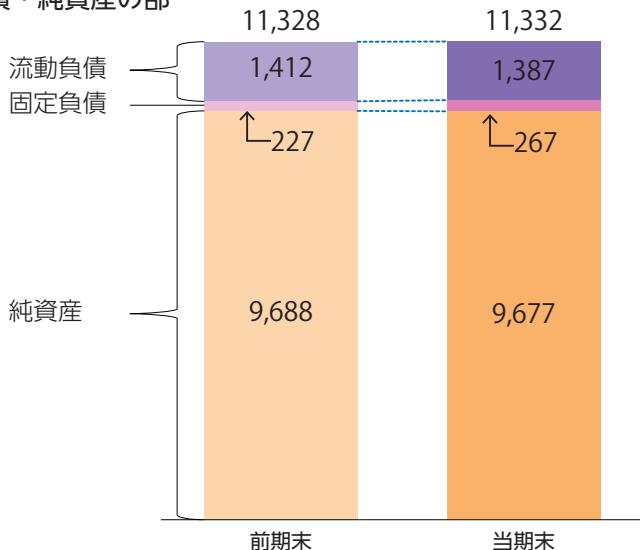
貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部



負債・純資産の部



1 資産

流動資産は、前期末に比べ9百万円減少し7,854百万円となりました。

これは、未成工事支出金と前払費用が増加した一方で、完成工事未収入金が減少したことなどが主な原因です。

固定資産は、前期末に比べ12百万円増加し3,477百万円となりました。

これは、保有株式の株価下落等により投資有価証券が減少した一方で、資産の取得等により有形固定資産が増加したことなどが主な原因です。

2 負債

流動負債は、前期末に比べ25百万円減少し1,387百万円となりました。

これは、買掛金と工事未払金が増加した一方で、未払金と未払法人税等が減少したことなどが主な原因です。

固定負債は、前期末に比べ39百万円増加し267百万円となりました。

これは、役員退職慰労引当金が減少した一方で、退職給付引当金が増加したことなどが主な原因です。

3 純資産

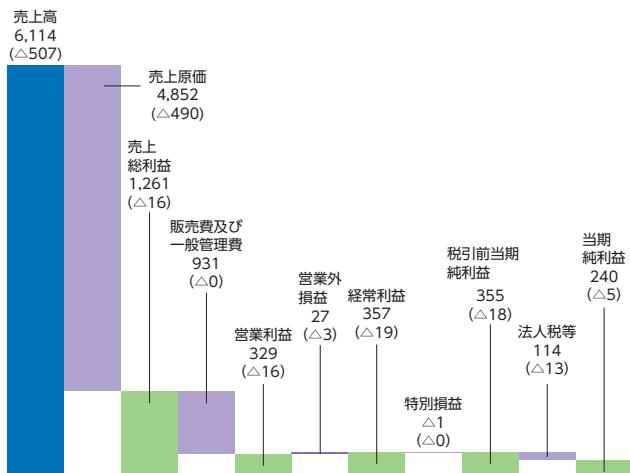
純資産は、前期末に比べ10百万円減少し9,677百万円となりました。

これは、利益剰余金が増加した一方で、その他有価証券評価差額金が減少したことなどが主な原因です。

この結果、自己資本比率は前期末に比べ0.1ポイント減少し85.4%となり、1株当たり純資産は前期末に比べ64銭減少し572円11銭となりました。

損益計算書

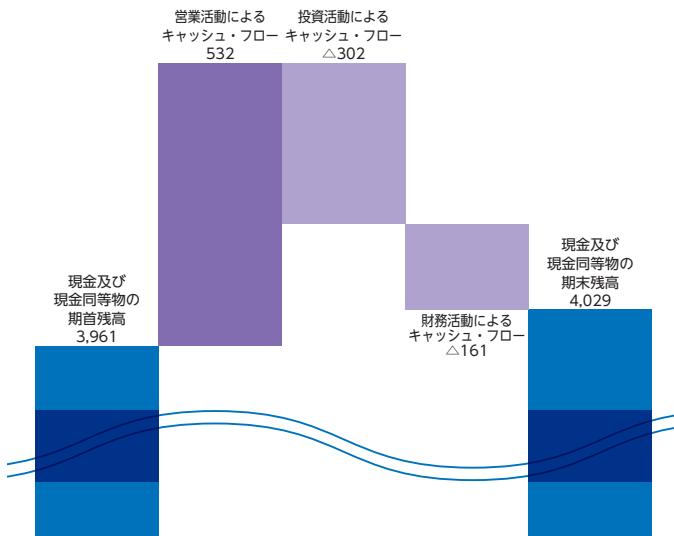
(単位：百万円)



※ 括弧内は対前期比

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)



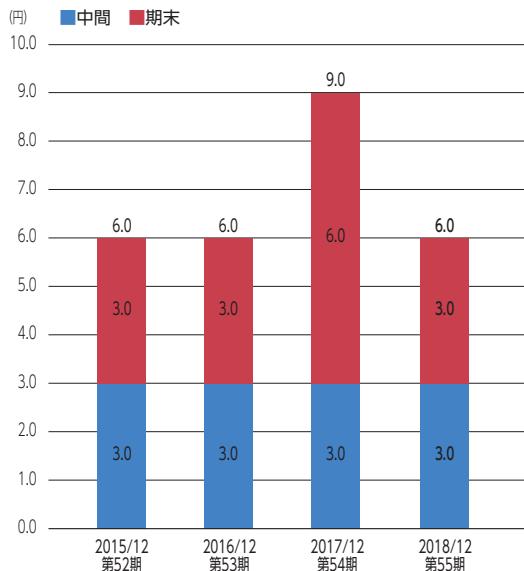
※ 百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当について

当社は、株主の皆様に対する適切な利益還元を経営の重要な政策と位置づけ、経営体質の強化と今後の事業展開を踏まえた内部留保等を総合的に勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、1株当たり3円を実施させていただきます。なお、中間配当金として1株当たり3円を実施しておりますので、年間配当金は、1株当たり合計6円となります。

1株当たりの配当金の推移



※ 第54期 期末配当には、創業70周年記念配当3.0円が含まれております。

富士変速機のギヤードモータは暮らしのどこかでつながっています。

確かな技術と信頼で選ばれている 富士変速機のギヤードモータが 暮らし・産業のさまざまな シーンで活躍しています

多様化するメカトロニクスにお応えし、多種多彩な変・減速機の応用製品を生み出しています。産業分野から暮らしの分野まで幅広く利用されています。

産業分野

汎用減速機 (ギヤードモータ)

VX Series 平行軸

VC Series 直交軸



共通特長

- インバータによる可変速運転が可能
 - ブレーキ手動解放装置付
 - 端子BOX90°位置変更可
- 小型・軽量 ●低騒音・長寿命
- メンテナンスフリー

暮らしの分野

暮らしの分野で活躍するギヤードモータ

かけがえのない生命と財産をまもる 万一の際に安心な消防用非常装置 『ジェットセイバー』

減速機のノウハウを応用したシャッター駆動装置。その中でもジェットセイバーは優れた技術力を結集して開発した電動シャッター水圧開放装置です。非常の際、消防車の強力な送水圧で外部よりタービンを回し、シャッターを開放。わずか1分で消防隊が消火活動に移れる状態にし、かけがえのない人命の救出や、大切な財産の消失防止に役立ちます。



独自技術をベースに
画期的なパーキングシステムを創造しています。

「くし歯」方式をはじめ、独自技術で 業界トップクラスの入出庫スピード 高い安全性と省エネを実現 駐車場の新世代をリードする “パズルタワー”

超高層パズルタワー
(ビル内に設置できる超高層タイプ)



パズルタワーの特長

ハイスピード

昇降路での車の受け渡しを瞬時に行うパレットレス方式を採用し、無駄のない動きで、パレット方式と比較して業界トップクラスの処理能力を誇ります。

耐震構造 低騒音・低振動

当社独自の設計で、すぐれた耐震性を有しています。リフトは低騒音・低振動設計で、きわめて静かな高速運転により深夜でも安心です。

省エネ

入出庫時は、必要な1台だけを動かすため、消費電力量は従来比1/2で済みます。

安全性

当社独自のトータル品質管理システムを導入し、人と車の安全面を考慮して、二重三重の安全を確保しています。

立地条件や用途に合わせて
充実したパーキングシステムラインナップを展開
オーナー様のあらゆるニーズに対応しています

スーパーパズルGS、LB (中規模、大規模地下式駐車場)



ウェルポートパズルタワーF (バリアフリー立体駐車場)



ペアパーク、アベルート (2段式駐車装置)



EV・PHVパズルタワー (EV・PHV充電システム)





標準品 食品機械向けギヤードモータ

高まる「食の安全」に対し、最適なギヤードモータをご提案いたします。

FSSC22000、ISO22000など規格取得に最適

グリース漏れに対する2重の安全対策

丸洗いによる清掃の簡素化

短納期対応(5日日出荷)



●モータ出力
0.1kW~0.4kW

●減速比
1/7~1/240



●モータ出力
0.1kW~0.4kW

●減速比
1/3~1/200



●モータ出力
25W~60W

●減速比
1/7~1/240



AGV

特殊品 無人搬送台車用ギヤードモータ

お客様専用の駆動輪を設計・製作いたします。

AGV Application

AGV 無人搬送台車用 ギヤードモータ

NEW POWER AGV GEARED MOTOR



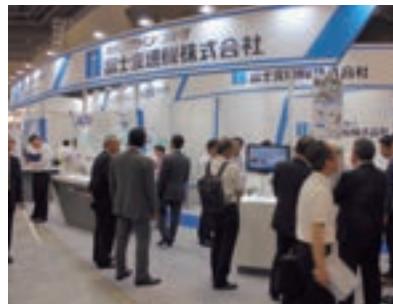
- ▶ 小スペースでもコンパクト設計
- ▶ 小ロットでも高品質設計
- ▶ 豊富な実績で高効率・高強度設計
- ▶ お客様の理想をカタチにする設計



「第22回機械要素技術展」 に出展いたしました。

2018年6月20日(水)～22日(金)の3日間、特長ある技術力を持つ企業が一堂に集まる、日本最大の専門技術展「第22回機械要素技術展」が東京ビッグサイトで開催され、出展いたしました。

当社ブースでは、ロボットアーム用減速機や食品機械向けギヤードモータをはじめ、工場を中心に導入が進むAGV(無人搬送台車)用ギヤードモータなどをデモ機で分かりやすく紹介しました。あらゆるニーズに対応し、お客様の理想をカタチにする独自の技術力と提案力をPRしました。



「名証IRエキスポ2018」 に出展いたしました。

2018年7月20日(金)、21日(土)、名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)で、開催された個人投資家向けイベント「名証IRエキスポ2018」に出展しました。

当社ブースでは、製品紹介ビデオやAGV(無人搬送台車)用ギヤードモータのデモ機を用いながら、来場者の方と丁寧な対話を行い2日間で300名を超える方に当社ブースへ来場いただきました。今後も、IR活動の充実に努めていきます。



会社概要

社名	富士変速機株式会社
英文社名	FUJI HENSOKUKI CO.,LTD.
創業	1947年4月
設立	1965年1月
資本金	25億750万円
岐阜県知事許可	建築工事業 (特-27) 第10684号 機械器具設置工事業 (特-27) 第10684号 電気工事業 (般-29) 第10684号
上場取引所	名古屋証券取引所 市場第二部
証券コード	6295
従業員数	213名 (男性190名 女性23名)

主要な事業所

本社	岐阜県岐阜市中洲町18 電話 (058) 271-6521 (代表)
美濃工場	岐阜県美濃市極楽寺963-1 電話 (0575) 33-1151 (代表)
テクノパーク工場	岐阜県美濃市楓台7 電話 (0575) 35-3972 (代表)
東京支店	東京都新宿区西新宿4-15-3 電話 (03) 3370-6359 (代表)

取締役 (監査等委員である取締役を除く。)

(2019年3月20日現在)

代表取締役社長	河嶋謙一
取締役	蓮井隆之
取締役	井本明
取締役	市原英孝
取締役	山田昭広
取締役	佐野通彦
取締役	中川有泰

監査等委員である取締役

(2019年3月20日現在)

取締役	今村季嗣
取締役	木村静之
取締役	中丸公之

(注) 取締役の木村静之、中丸公之の両氏は、社外取締役であります。

当社ホームページを
ご覧ください

<http://www.fujihensokuki.co.jp/>



株主・投資家向けのIR情報から取扱い製品まで、会社の幅広い情報を提供しております。ぜひ一度、ご覧ください。

株式の状況 (2018年12月31日現在)

株式の状況

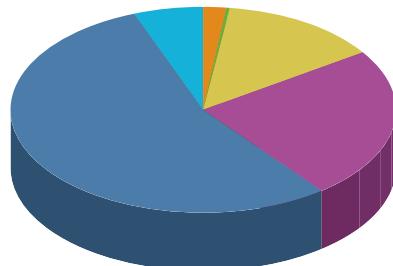
発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	17,955,000株
単元株式数	100株
株主数	1,650名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
立川ブラインド工業株式会社	9,393	55.53
富士変速機取引先持株会	1,852	10.94
株式会社愛知銀行	526	3.11
株式会社十六銀行	454	2.68
岐阜信用金庫	437	2.58
MSIP CLIENT SECURITIES	360	2.13
富士変速機従持会	288	1.70
三井住友信託銀行株式会社	171	1.01
岐阜商工信用組合	141	0.83
第一生命保険株式会社	141	0.83

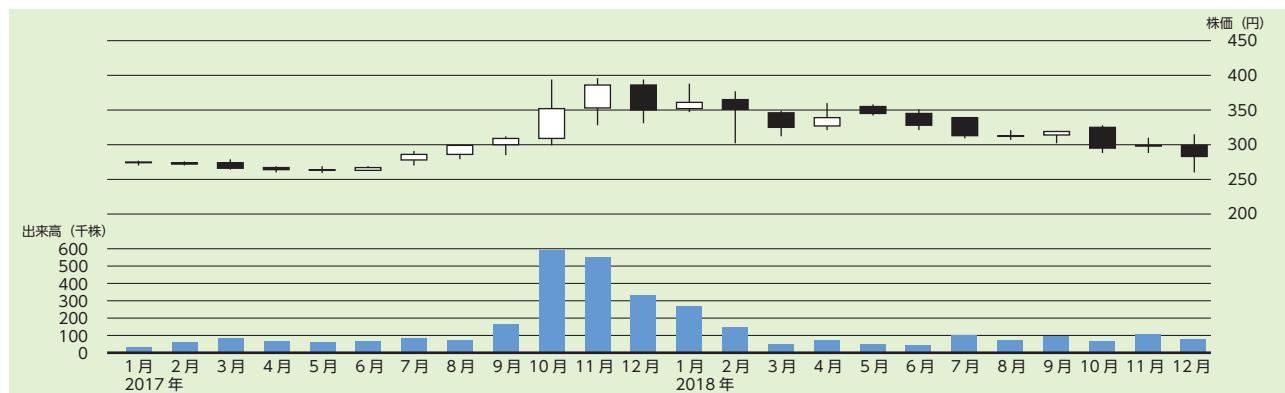
(注) 1. 当社は、自己株式1,039千株を保有しておりますが、当該株式に議決権がないため、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 千株未満は切り捨てて表示しております。

株式の所有者別分布状況



外国人	証券会社
3名	12名
361,400株	12,098株
2.01%	0.07%
金融機関	個人・その他
14名	1,568名
2,425,600株	4,303,492株
13.51%	23.97%
その他国内法人	自己名義株式
52名	1名
9,812,766株	1,039,644株
54.65%	5.79%

株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年12月31日 中間配当：毎年6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.fujihensokuki.co.jp/kessan/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことが出来ます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収額の計算は証券会社等で行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。